

ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト訪問記録

兵庫県立兵庫津ミュージアム	
カテゴリー： 博物館	
所 在 地： 神戸市兵庫区	
調 査 隊： 女子会＋ (訪問日:2023.9.6)	
障 害 種 別： 知的障害・車椅子ユーザー	
プロジェクト参加への動機： ・指定管理者としてこのミュージアムを観光地として盛り上げたい。外国の方、障がいのある方、子どもたち等、たくさんの方に気軽に来場してもらいたい。 ・開館して1年だが、支援学校や放課後等デイの方々にたくさん来ていただいている。「わかりやすく楽しめる体験ミュージアム」を目指している。	
PR したいところ： ・兵庫県のイメージを「神戸市」だけでなく、兵庫 5 国の歴史、文化、等を知ってほしい。 ・キャッチフレーズ「ハミデル博物館」。難しくなく、見たり触ったりの体験、体感ができる。バーチャル体験もあり。大声を出してもいいです。 ・ソフトとハードとヒューマンが大切。ヒューマンの部分としてスタッフ育成に力を入れています。 ・高校生以下無料	
特別な配慮を必要とする人(高齢者・障害者・外国人など)向けのプログラム・配布物がありますか？ ・常設「イトーくんを探せ」 →小学生や支援級の子が楽しめるように ・特別展「レゴ展 知る・見る・遊ぶ」 ・7 月 15 日～10 月 15 日、ファミリーで楽しむ	
障害者への対応をしていることはありますか？ ・事前に聞いて対応している。 ・県庁館の砂利のところはマットを敷いて車いすも通れるように対応。 ・県庁館の畳には、畳に上がれる車いすに乗りかえて入れる。 ・ビデオは字幕入り。スクリーンは事前に分かれば字幕が投影可。 ・学校関係団体対応スタッフ、一般団体対応スタッフを配置し、事前のプログラム打合せから当日の案内まで対応している ・クールダウンのスペースがある ・事前に連絡すれば施設内駐車場を確保している(支援学校・放デイなどが利用)	

障害のある人が来館されて、困ったこと／どうしていいかわからなかったことはありますか？

特になし

調査報告

よかった点（いいな、と感じた点）

（ひょうごはじまり館）

- ・触って楽しむことができる展示や絵も多く、色々な楽しみ方ができるのがよかった。
- ・ボタンが押せたり、実際に試すことができたりして楽しい。文章がニガテでも楽しめた

（初代県庁館）

- ・車椅子の人も室内にあがることができるようになっていて、室内から見える景色を見ることができるのがよかった。
- ・通路の砂利のところも車椅子が通れるように工夫されていてよかった。
- ・「イトーくんを探せ」が難しかったが楽しかった
- ・スタッフの方が参加者の疑問に丁寧に答えてくださり、学びが深まった

（特別展 レゴ展）

- ・大きなレゴ(デュプロ)が用意しており、小さな子どもでも楽しむことができる

調査隊が「こうすればもっと楽しめる」と感じた点

（館としての考えられる対応策→(A)すぐにやれそうなのでやってみよう

(B)色々な内容を精査して中期的に計画しよう

(C)長期的に検討課題としよう

(D)対応が難しい・できない

プログラム

- ・シアターに英語字幕があったので、日本語字幕もあればよいと思う

→(A)日本語字幕をつける予定

- ・シアターの歌が強すぎて、ストーリーがよくわからなかったので、ストーリーを重視した上映があったらいいと思った

→(C)開館に合わせて制作したので、当面はこのまま。

展示

- ・展示物の文字がもっと大きいといいなと思った

→(C)今後、検討していく

- ・「イトーくんを探せ」でなかなか見つからなかったのに、ヒントがあるといいと思った

→検討します。

- ・すごろくのやり方の説明が書いてある看板があったらいいなと思った

- ・すごろくが大人用と子ども用があればもっと楽しむことができると思った

→ルールはないので自由に遊んで欲しい

- ・初代県庁館において、せっかく当時の復元として本物を使っているのに、建物や瓦、石などの説明が展示されていたら、興味関心が広がると思った
→(A)今後検討していく
- ・カフェにおいて、車椅子の人が車椅子から降りて畳にあがり、身体を伸ばすことができればよいな、と思った。
→車椅子から降りて畳にあがって構いません。

施設

- ・順路が少しわかりづらく、次にどこにいったらいいのか迷った。矢印などがあればいい
→順路はないので、自由に観覧してほしい
- ・シアターのベンチの間隔にもう少しゆとりがあれば安心して見ることができると感じた
- ・身体障害者用トイレにユニバーサルシートがあると安心できる
→(D)身体障害者用トイレにそのスペースはないので、個別に対応している

受け入れ体制

その他

★プロジェクトに参加して

調査隊の感想

- ・シアターで神戸の歴史が劇と音楽でわかりやすく説明されていておもしろかった。
- ・展示で興味を持ったものをもっと知りたいと思うようになった

施設の感想(気づきや発見)

- ・今後、常設展示の映像にも字幕を付ける必要性を感じた。
- ・今回のプロジェクトを通じて、障害を持つ人の立場を感じることができた。
- ・障害者自身の意見を聞く機会があればもっとよかった。